


今あるものづくりを その先の未来へ

# e 建具

T A T E G U

2012

7月号



全国建具・福岡大会が開催

## 全国建具 第57回通常総会

# 財務体制の改善に向け、組織力の強化を図る

全国建具組合連合会（上中節彦会長）は7月5日、福岡県福岡市博多区の福岡サンパレス・パレスホールで第57回通常総会を開催した。

通常総会は近藤明敏東海ブロック長の司会で進行。河井順一近畿ブロック長による開会の言葉に続き山下仁専務理事が総会成立を宣言。会長挨拶では上中会長が「今の政治経済

は昨年の震災以降、悪い流れの中にある。この流れに建具業界も呑み込まれないようにと呼びかけてきた。前回の福岡大会は41年前。その時は会員が8600人いたが、現在は2500人まで減少した。しかしながら、全国建具展示会には163点の作品が集まり、以前と劣ることなく大会が開催できています。作品も高い

質を維持しており、皆さんの力で展示会を続けられることに感謝申し上げます」と協力を感謝すると共に、全

国大会の開催意義について理解を求めた。

議長団には開催県である福岡建具・木工協同組合の釈清治相談役と次期開催県である鳥取県建具組合連合会の引地雅巳東部支部組合長を選出。第1号議案から第6号議案までを協議し、全議案を可決承認した。

平成23年度事業報告では昨年度の全国建具が推進した事業内容を説明。東日本大震災で被災した各県に総額1380万円の義援金を送金。迅速な対応ができた点を評価した。

組織拡充と財政基盤の確立に関する問題は会員減少が続く中、建具業界の将来に向けてのビジョンを示すと共に、財政基盤の抜本的な改革を探讨了。平成23年度収支決算報告及び会計監査報告は昨年度に発行した会員名鑑の事業収入繰越金などの影響で黒字を維持。しかしながら、会計監査では単年度決算としては赤字で

あることを指摘。収支バランスの検討と支出削減と新たな財源確保の必要性を訴えた。

平成24年度事業計画案では重点目標として①組織の拡充と財務基盤の確立、②後継者育成のための青年部の指導と支援、③建具業界の振興と経済的・社会的地位の向上、④ホームページの更なる拡充と情報伝達の推進、⑤各種保険・出版図書販売・広告業務の推進、⑥全国伝統建具技術保存会への協力、以上6項目を挙げた。財政健全化に向けて会員拡大、会費値上げ、賛助会員及び特別会員制度の導入などの諸策を検討する。平成24年収支予算案は会員2500人を基本として算出。厳しい経済情勢下で更なる緊縮財政を推進すると同時に事業収入の強化を図る。

第5号議案では次期第58回全国大会開催地として鳥取県建具組合連合会を指名。実行委員長を務める田中修二会長が挨拶に立ち、開催承認に感謝を述べた。第6号議案のその他協議では栃木県の再加入を承認。栃木県建具組合連合会の金田正弘会長を紹介した。通常総会は今野敏範東北ブロック長の閉会の言葉で終了した。



全議案を可決承認



挨拶する上中会長